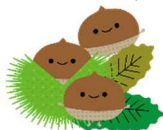


# 知識は 旅をする

千葉県立東部図書館だより

2021年11月

第72号



『仮名読八犬伝』為永春水(2代目)作、歌川国芳画ほか  
〔菜の花ライブラリー〕千葉県デジタルアーカイブ

## ▼ 歴史講座のご案内

### 「伊能忠敬の房総測量～『測量日記』を読み解く～」

講師：實形 裕介 氏（千葉県文書館職員）

日時：11月26日（金）13:30～15:30

定員：20名（申込先着順）

申込み：来館・電話・FAX・メールにて（申込みは10月27日（水）から受付）

TEL:0479-62-7070 FAX:0479-62-7466 メール:elib-kouza@mz.pref.chiba.lg.jp

## ▼ 展示のご案内

### 【資料展示コーナー】

#### 「ノーベル文学賞作家」

展示期間：10月16日～12月16日

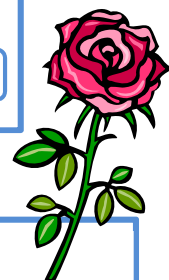
120年続くノーベル文学賞の長い歴史の中で日本人は何人受賞しているか知っていますか。川端康成と大江健三郎の2名です。ここ数年は、日本人3人目の受賞になると注目を集めていますが、今年もかないませんでした。この機会にぜひ、ノーベル文学賞を受賞した作家の数々の作品に触れてみませんか。

### 【ガラス展示コーナー】

#### 「バラのすべて」

展示期間：9月17日～11月18日

バラの種類は多く、毎年たくさんの新品種が誕生するほど人気の花です。千葉県内にも何か所もバラ園があり、さらに中央博物館では、11月28日（日）まで「バラのすべて～All about Roses～」という特別展が開催されています。バラの歴史や文化を知る機会にしてみたいはいかがでしょうか。



## ▼ 年末年始休館のお知らせ

12月29日（水）から1月4日（火）まで休館します。なお、休館中でも資料の返却ができますので、東部図書館正面、入口左側のブックポストをご利用ください。

ホームページ URL

<https://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

↑PC・スマホ等の方はこちらへ

携帯電話機の

QRコードリーダーでアクセスできます→



一般の方もお聴きいただける

## 録音図書（館内利用可）のリストについて

録音図書とは、視覚に障害のある人たちが、耳で聴いて読書できるように、図書の内容を音訳し、その音声をCDやカセットに記録したものです。県立図書館では、障害者サービス用に録音図書を収集・提供していますが、障害のある方だけでなく、一般の方も利用できる録音図書があります。

録音図書リスト（館内利用可）は、県立図書館ホームページ（<https://www.library.pref.chiba.lg.jp>）でご覧いただけます。このリストにある録音図書は最寄りの県立図書館内で、どなたでもお聴きいただけます（ただし、館外に貸出しはできません）。なお、取り寄せて利用される場合は、ご利用になりたい最寄りの県立図書館へご相談ください。

録音図書リスト（館内利用可）は以下の手順でご覧になれます。

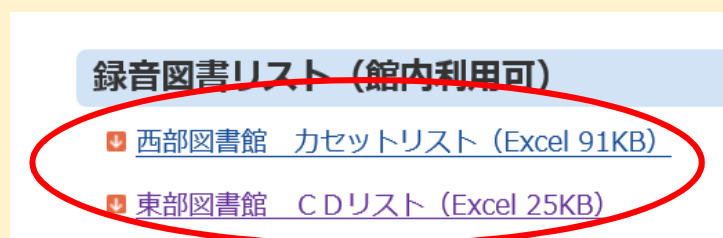
①ホームページ左下の「各種資料リスト」をクリック



②各種資料リストメニューの中から「録音図書リスト（館内利用可）」をクリック

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>▶ 十冊文庫</b><br/>読書グループ向けのテキストとしてご利用していただくために、同一タイトル10冊を1セットとしてご用意している資料です。県立東部図書館で所蔵しています。</p> | <p><b>▶ 録音図書リスト（障害者サービス）</b><br/>図書の内容を音訳しカセットやCDに記録したものです。視覚障害者等活字による読書が困難な方々にご利用いただける資料です。</p> |
| <p><b>▶ 展示リスト</b><br/>県立図書館では、各館の展示スペースで定期的に資料の展示を行い、様々な資料を紹介しています。</p>                             | <p><b>▶ 録音図書リスト（館内利用可）</b><br/>館内でもご利用いただける録音図書一覧です。どなたでもご利用いただけます。</p>                          |
| <p><b>▶ 中国の教科書リスト</b><br/>中国で使われている教科書です。県立東部図書館で所蔵しています。</p>                                       | <p><b>▶ 赤ちゃん絵本リスト（こどものページ）</b><br/>親子で楽しめる乳幼児向け絵本をテーマ別に紹介しています。</p>                              |

③ご覧になりたいリストを選んでクリック



なお、東部図書館内でもご利用の場合、このリストだけでなく、視聴覚コーナーに常置してあるCDケースでも確認できます。

西部図書館のカセットを取り寄せる場合は、東部図書館内のカセットデッキでご利用いただけます。希望される場合はカウンターへご相談ください。

# 図書館ぶらり散歩 (52)



## 『カレーライス 教室で出会った重松清』

重松 清 著

新潮社 2020年 【9136/汁52】

教科書で読んだ作品は、大人になっても結構覚えていてものです。本書は教科書や入試問題等に使用された重松清の作品を9編収録した短編集です。

小学校高学年や中学生である主人公たちの、親への反発、友人関係、いじめ等に悩む心情がとても自然に描写され、自分にもこんな経験があったと、誰もが共感することでしょう。

おすすめの作品は「バスに乗って」。母親が入院している病院にバスで通う少年とバスの運転手のやり取りは涙なくしては読めません。この本をきっかけに重松清の世界に浸ってみてはいかがでしょうか。

## 『秋たちぬ 寺山修司未発表詩集』

寺山修司 著

岩波書店 2014年 【91156/芥4】

寺山修司の作品にふれたことはありますか？この本の元になったのは寺山修司が遺した一冊のノート。中高生時代の著者が自らのノートに記した作品をまとめた詩集です。

手書きの原稿には、イラストが添えられ、細かいカット割りや脚注も付いています。きっちりとした几帳面な文字は、若者の複雑で繊細な心情を写しているかのようです。当時、著者は十代の中頃。この頃から一冊の本を完成させることを思い描いていたのでしょうか。

秋の長い夜、少し前の時代に思いを巡らせて、寺山修司の詩の世界を味わってみませんか。

# 秋の夜長に、こんな本はいかが？

## 『フラワーフェアリーズ 花の妖精たち愛蔵版』

シシリー・メアリー・バーカー 作

グラフィック社 2011年 【9317/ハ1】

この本では、様々な種類の花や木の妖精の絵と詩が四季ごとに紹介されています。秋になると、どんぐりが落ちていたり、ナナカマドの木が実をつけたりしますが、そんな木々にもそれぞれ妖精がいて、いろいろな姿や個性を持っていることがこの本を読むと分かります。

秋の花や木の妖精がどんな姿をしていて、どんな性格をしているのかを知ると、秋をより一層美しく感じるかもしれません。

## 『赤の歴史文化図鑑』

ミシェル・パストゥロー 著

原書房 2018年 【7573/71】

秋といえば紅葉、紅葉といえば赤色、そんな赤色にまつわる本を読んでみませんか？『赤は原初の色であり、あらゆる色より優れている。』そう豪語するだけの証拠がここにはあります。

洞窟壁画からシンボルアートに至るまで、人類の側にあたりまえのように存在する赤色は、何を意味し、どのような存在であったのか。歴史、文化、宗教、科学、あらゆる分野の膨大な資料から考察される赤色の歴史は、長い夜の良いお供となること間違いなしです。

【 】内は資料の請求記号です。

# 大原幽学記念館



大原幽学は、江戸時代後期に活躍した農村の指導者です。長部村（現 千葉県旭市）を中心に農業だけでなく性学（せいがく）という学問を指南しました。性学とは道徳と経済の調和を基本とした幽学独自の教えで、日頃のくらし方について説いています。

幽学の没（安政5年）後も性学は継承され、昭和32年には門人たちによって「大原幽学遺品保存館」がつけられました。昭和61年に干潟町（現 旭市）に移管されるまで、幽学の死後120年以上も守り続けられたのです。ここまで人を惹きつける大原幽学とは、いったいどんな人物だったのでしょうか。

これらの幽学の遺品・史料が受け継がれたのが「大原幽学記念館」です。幽学がどんな人物か気になる方は、ぜひ、足を運んでみてください。令和3年10月1日（金）から12月19日（日）までは「企画展 甘藷王国の軌跡 さつまいも栽培の先駆者・穴澤松五郎」も開催されています。

**進化する博物館** 現在の「大原幽学記念館」は平成8年に開館し、令和元年に博物館法に基づく登録博物館になりました。同年には新たに幽学の肖像画も発見されるなど、進化を続けています。こういった資料は、どのようにして見つかるのでしょうか？ この肖像画については台風後の片付け中に大原聖殿（大原幽学記念館隣接施設）で偶然発見されたそうです。また、幽学が以前住んでいた長野県の方から資料発見の連絡が入り、引き取りに行くこともあるそうです。

**学芸員さんと図書館** 博物館の学芸員さんが企画展を開くときなど、資料をどのようにして探すのでしょうか。大原幽学記念館の学芸員、猪野映里子さんにお話を伺ったところ、「県立図書館の資料を利用することもある」とのこと。通常では手に入りづらい地方の雑誌を探したり、年代の古い資料を利用したりするそうです。また、猪野（旧姓：鈴木）さんの著作は県立図書館でも所蔵しています。



記念館をとりかこむ幽学公園には、全国から集められた約521種類の椿が植えられています。開花のピークは2月下旬から4月中旬ですが、早咲きの品種は12月から咲き始めます。

- ◆所在地 : 千葉県旭市長部345-2
- ◆開館時間 : 9:00-16:30
- ◆入館料 : 一般300円
- ◆休館日 : 月曜・祝日の翌日 年末年始
- ◆アクセス : 旭駅から車で約20分

**大原幽学に関する資料（県立図書館所蔵）〔 〕は所蔵館と請求記号です。**

- \* 『大原幽学物語』（鈴木 映里子／著）〔東部 C289/加 13/〕
- \* 『大原幽学 幕末の農村指導者』（千葉県立大根博物館／編）〔東部 C289/加 6/〕
- \* 『大原幽学』（中井 信彦／著）〔東部 C289/加 3/〕
- \* 菜の花ライブラリー『大原幽学関係資料』（インターネット 千葉県立図書館ホームページよりアクセス）  
<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/nanohana/index.html>

- 県立図書館の資料は、市町立村図書館などを通じて利用することもできます。お近くの図書館、公民館図書室等の読書施設にご相談ください。
- 県立図書館では、千葉県に関する資料を収集しています。グループ・職場などで資料を発行されたときには、情報をお寄せください。

## 編集長の独り言

新型コロナウイルス感染症の第5波は収束に向かっていますが、安心して図書館を利用していただけよう、引き続き感染症対策に留意して参ります。読書の秋本番。未だ行動制限はありますが、こころは自由です。古今東西、知識の旅をお楽しみください。

編集・発行：千葉県立東部図書館

〒289-2521

千葉県旭市ハの349

TEL 0479-62-7070

FAX 0479-62-7466

URL : <https://www.library.pref.chiba.lg.jp/>